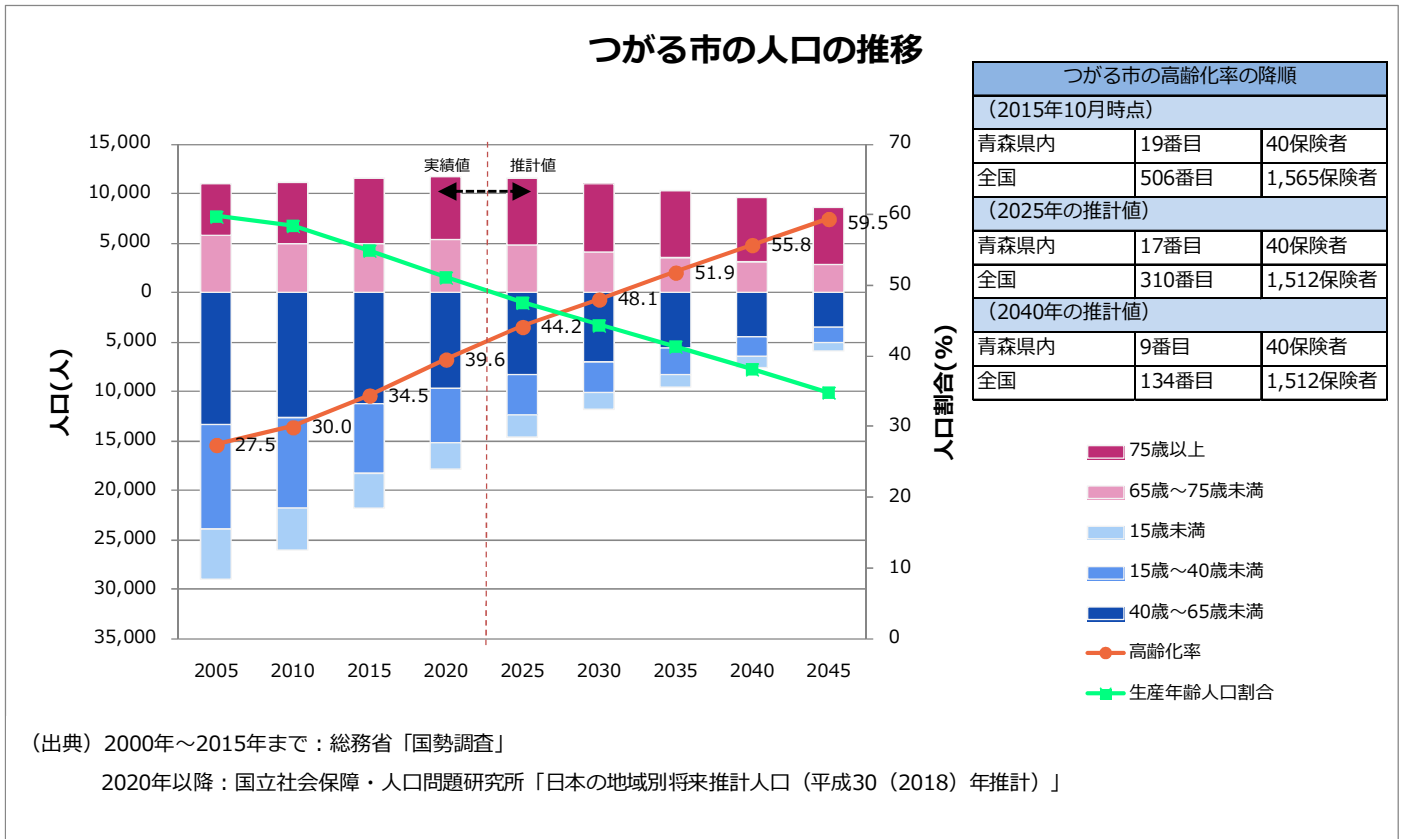


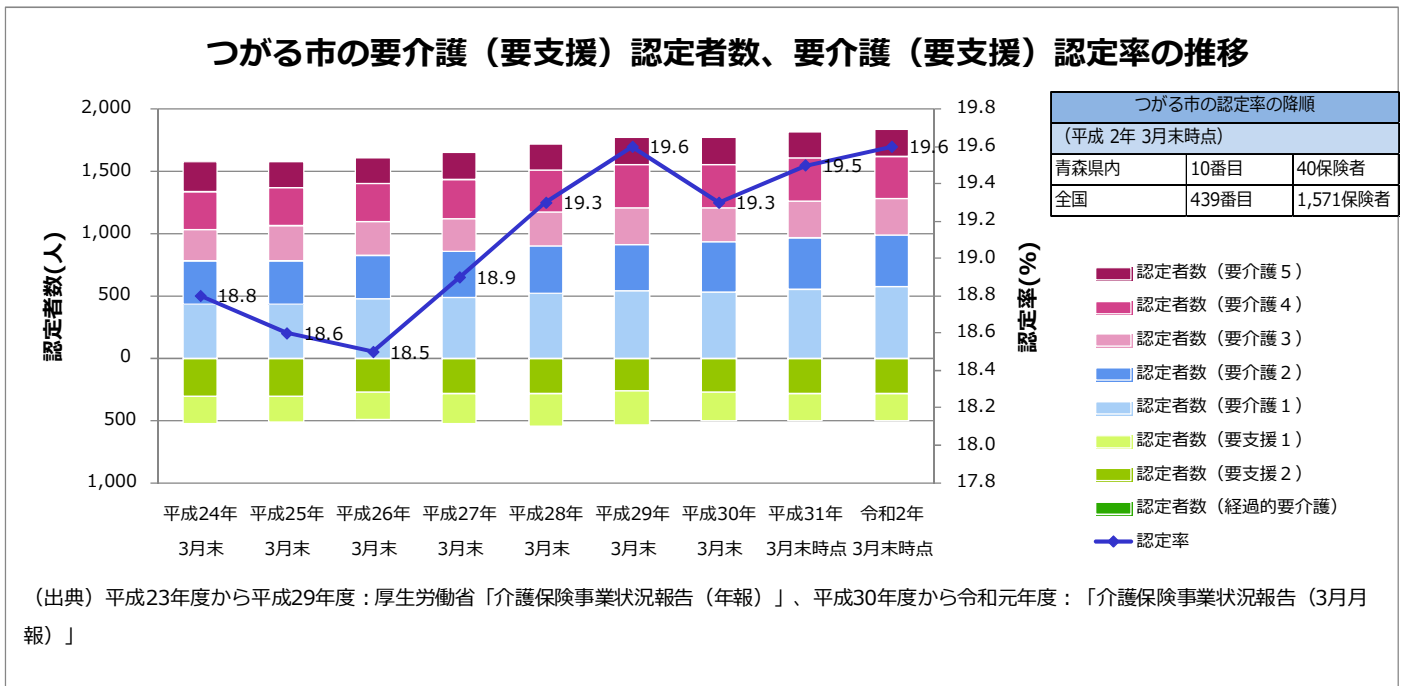
介護給付費・認定率等に関する現状把握資料

1. 人口推移



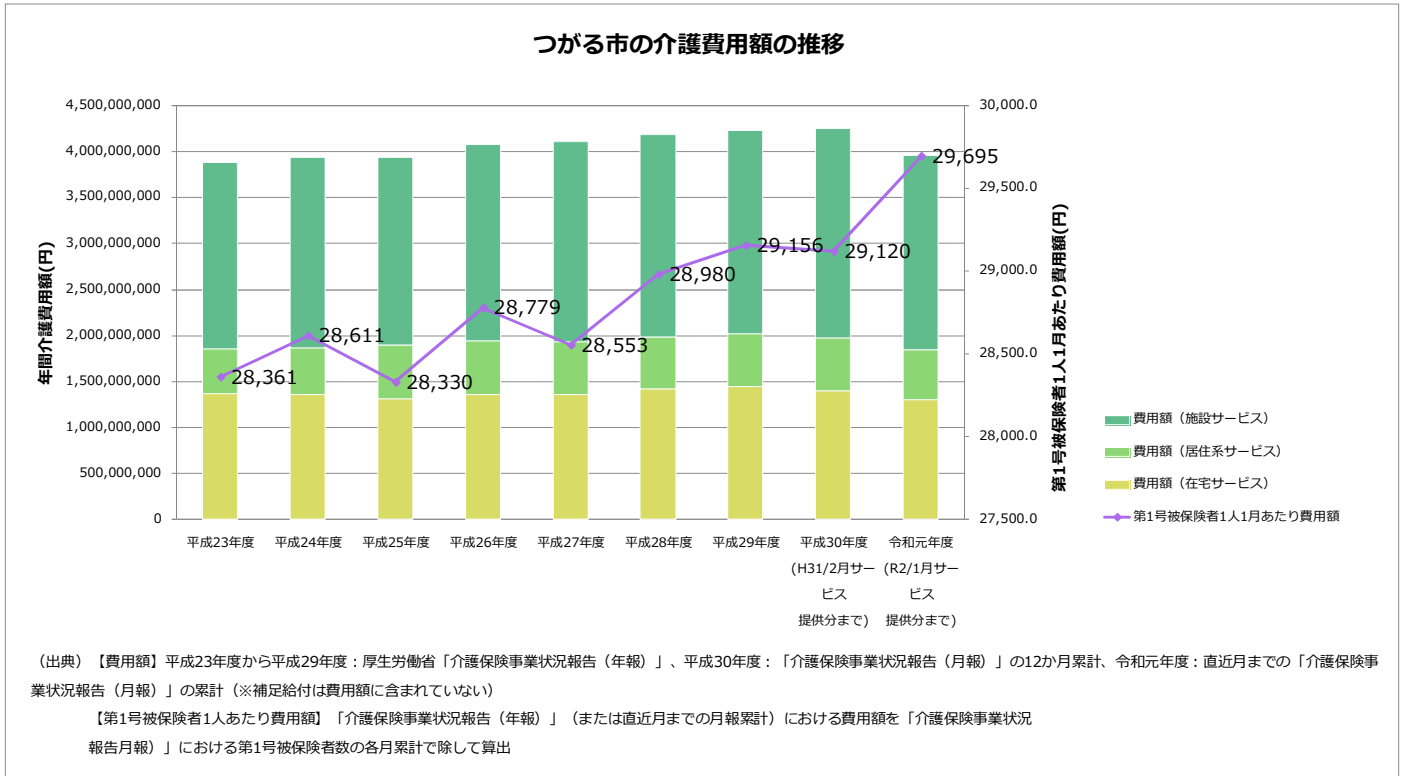
2020年以降高齢者人口は、減少しますが、高齢化率は上昇し続け、15年後（2035年）には50%以上の推計結果です。

2. 要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移



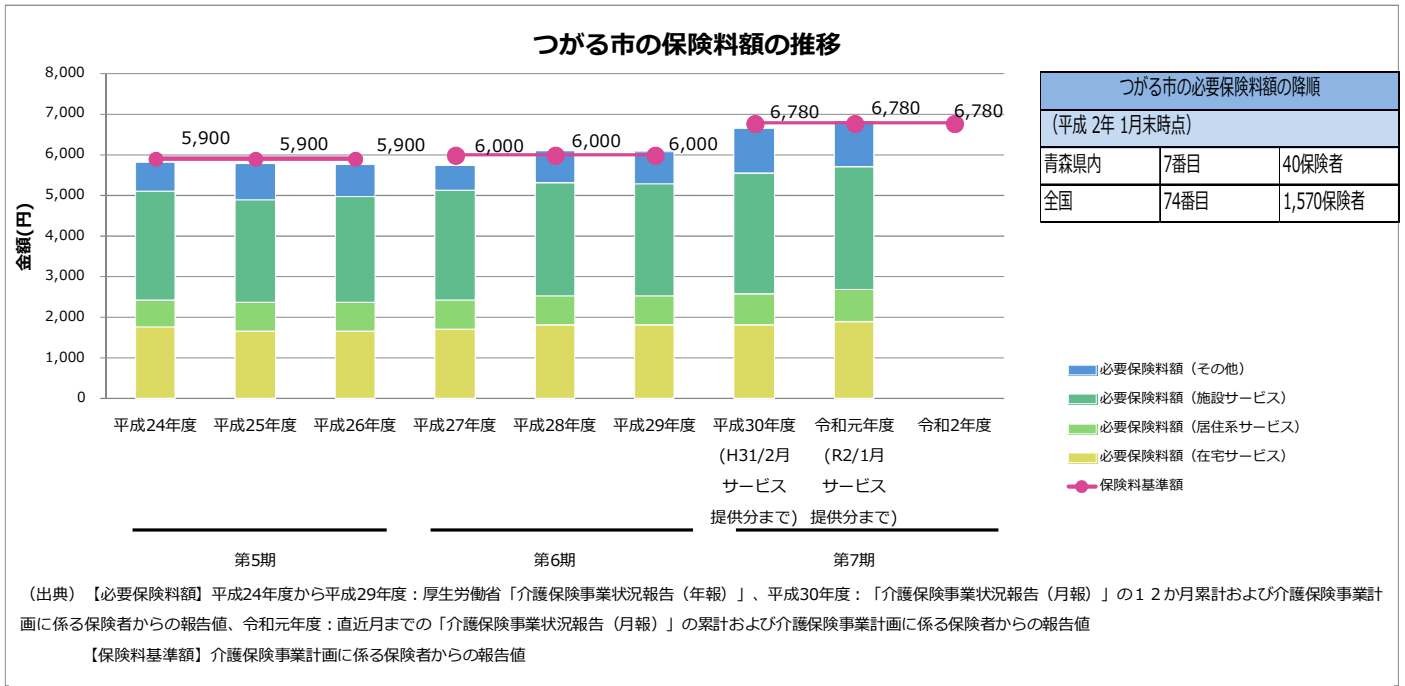
7期になってH30に認定率は一旦減少しましたが、H31,R2と近年認定率が上昇を続けています。

3. 介護費用額の推移



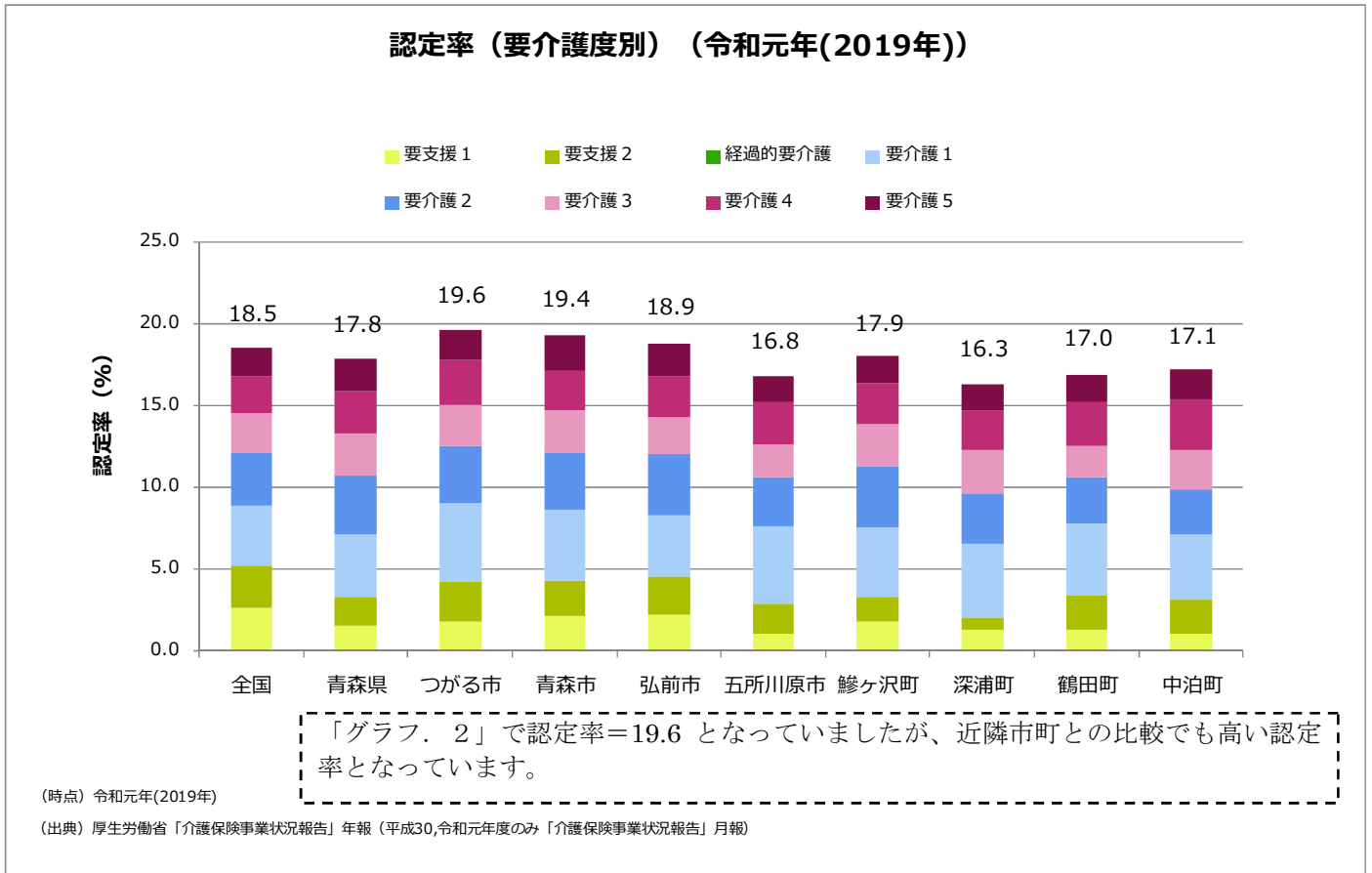
介護費用額（棒グラフ）、第1号被保険者1人あたりの費用額はどちらも増加傾向です。R1の第1号被保険者1人あたりの費用額の急激な上昇は、高齢者人口伸びていないことが原因として考えられます。（H30以降は12か月分のデータが揃っていない）。

4. 保険料額の推移

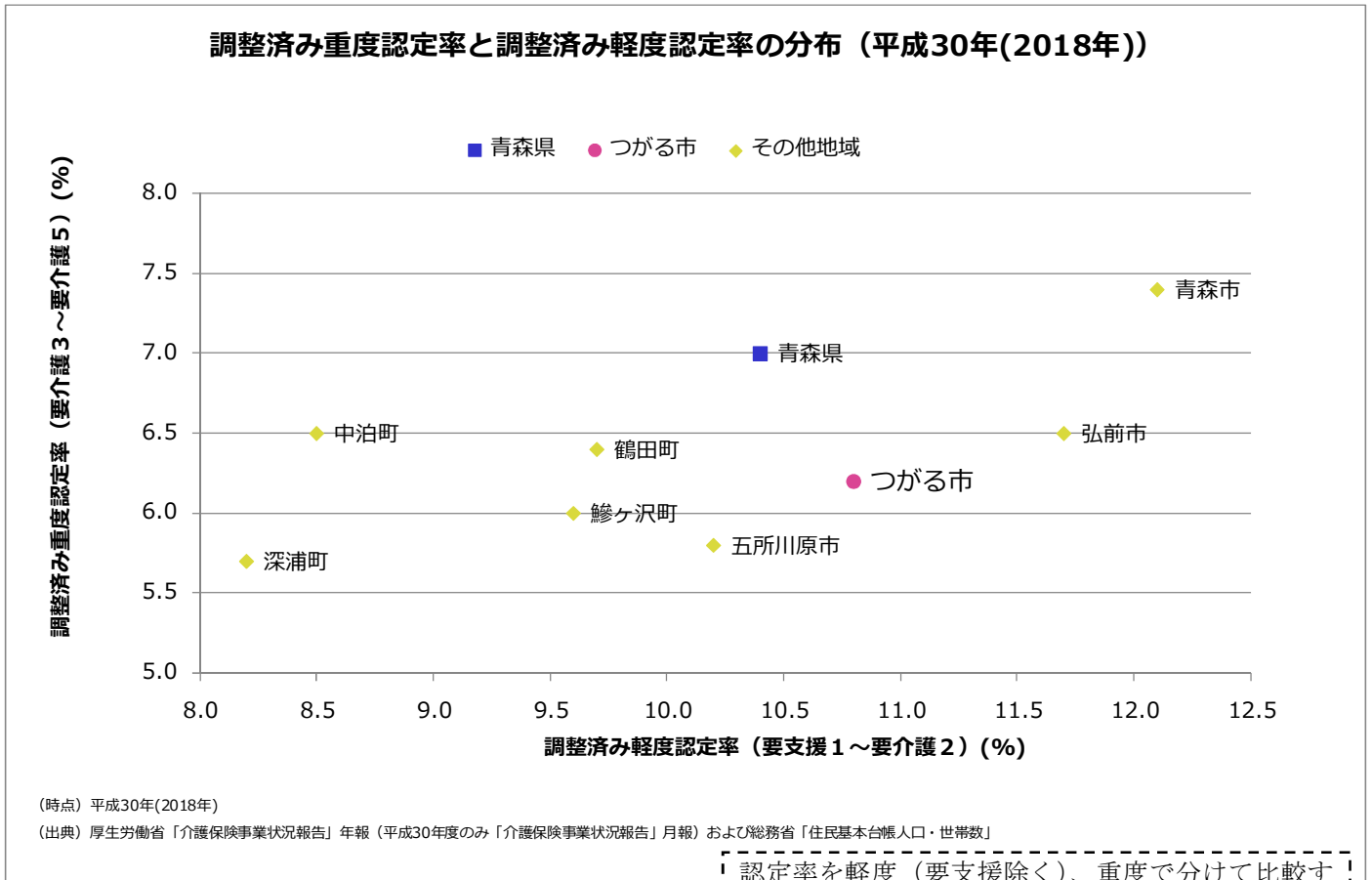


5期～7期にわたって保険料基準額（折れ線）、必要保険料額（棒グラフ）とも上昇していますが、全期間を通して、保険料基準額の範囲内に必要保険料が収まっています（H30以降は12か月分のデータが揃っていない）。
 ※棒グラフが折れ線を越えると赤字の状態。

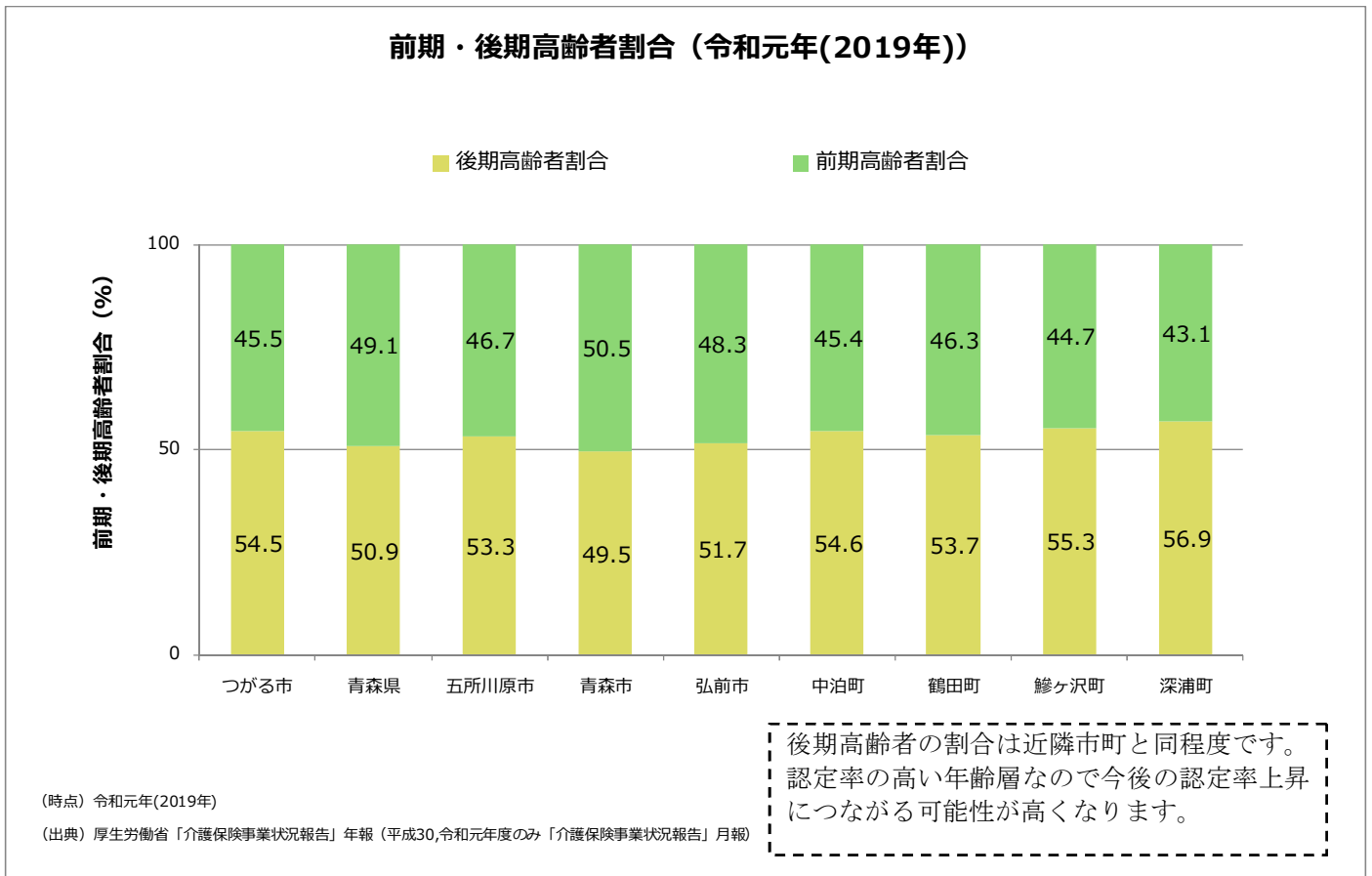
5. 認定率（要介護度別）



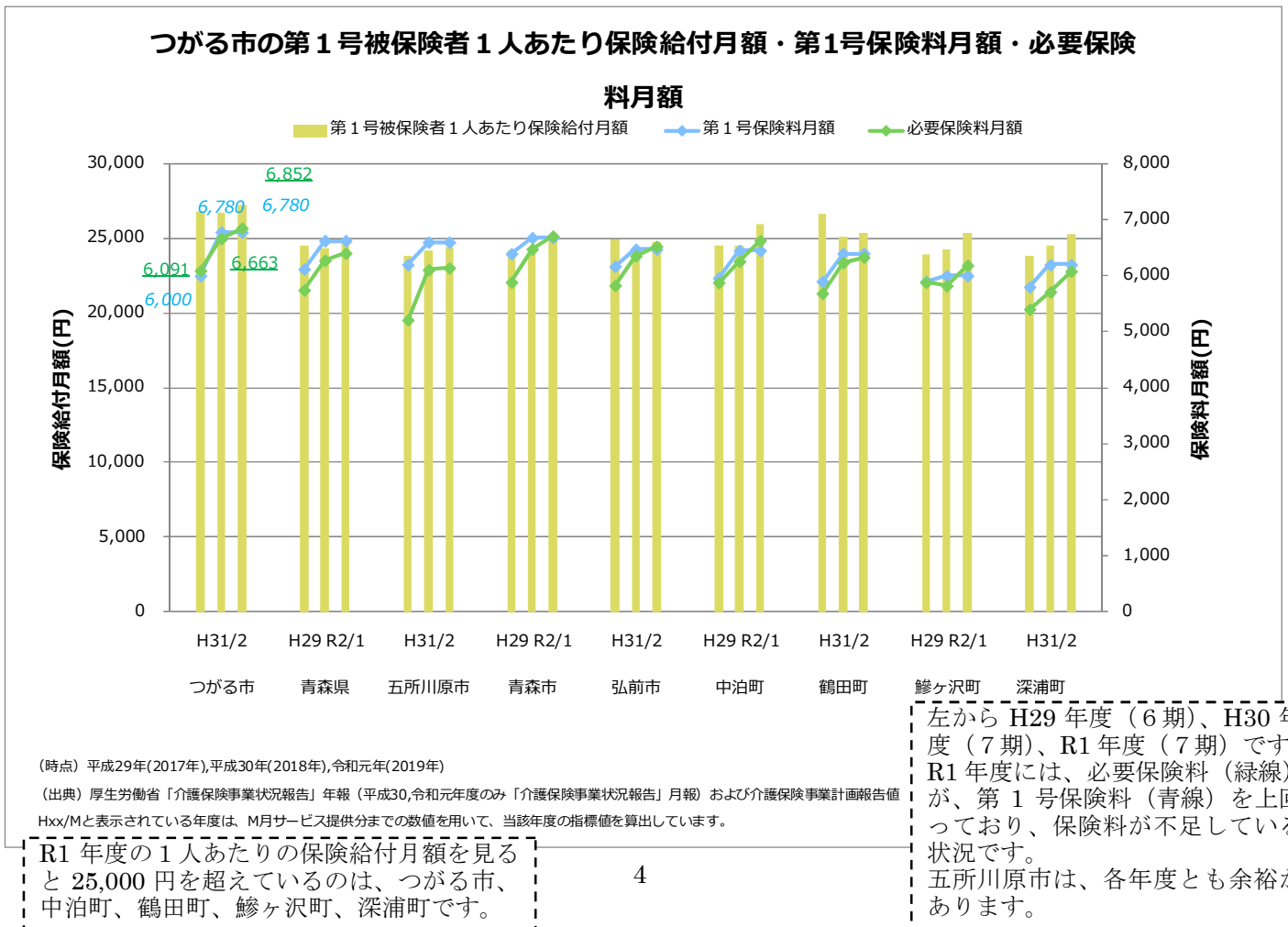
6. 重度認定率と軽度認定率の分布



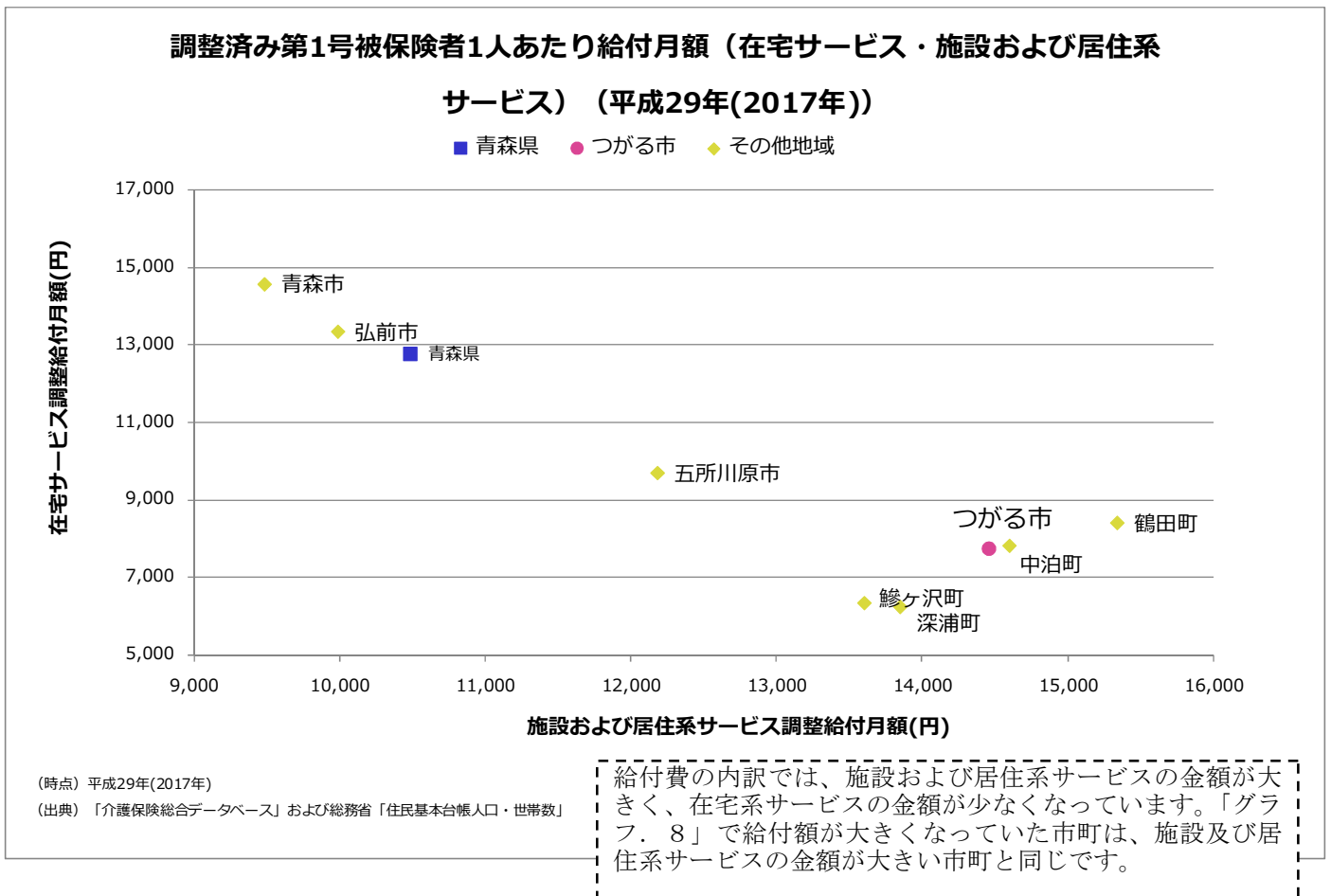
7. 前期・後期高齢者割合



8. 第1号被保険者1人あたりの保険給付月額・第1号保険料月額・必要保険料月額



9. 第1号被保険者1人あたりの給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス）



10. 受給者1人あたり給付月額（訪問介護）

